

医療センターと給水地点の修復による カメルーン南西州の復興



ファクトシート

日本補正予算：2021年3月～2022年3月

予算：275万998米ドル

主なパートナー：カメルーン政府、民間セクター、
市民社会組織（CSO）

目的

このプロジェクトは、公的サービスの提供再開を促すためプライマリ・ヘルス・ケア・センターや給水地点の修復など、インフラの改良を行うことを目的とします。

プロジェクトの成果

成果1：南西州ファコ県において住民の基本的な医療サービスへのアクセスを向上させること

成果2：南西州ファコ県において住民の安全な飲料水へのアクセスを向上させること

SDGsへの貢献

このプロジェクトは、SDGsの目標1、2、3、6、8、10および17に貢献します。



From
the People of Japan

開発課題

カメルーンの北西州および南西州では2017年から武力紛争が続いています。この紛争により民間人と戦闘員の双方に多数の死者が出ており、経済は著しく悪化し、開発は遅れ、そして社会の一体性は失われました。

カメルーン政府は、国際機関、国際NGO、市民社会および民間セクターと協議をし、国連開発計画（UNDP）との緊密な協力を要請しました。これを受けて、UNDPは、再建と開発のための大統領計画（PPRD）の下、短期的な復興と人道的支援、および長期的な再建と開発支援を結びつける復興計画を策定しました。

目下の最優先事項は、水道ネットワークの修繕、学校や病院の修復、そして通常の生活に戻るための適切な状況を提供することです。

文民主導の回復に向けたプロセスと、ひいては英語圏地域における再建を支援することで、現在行われている人道的支援を補完し、強化することができます。